

『令和8年度SSH生徒研究発表会』に参加してきました

8月4日(火)～8月6日(木)、神戸国際展示場を会場に令和8年度SSH生徒研究発表会が開催されました。この大会は、全国のSSH指定校239校が一同に会し、数学・情報、物理、化学、生物A(動物・医学)、生物B(植物・農学)、地学に分かれてポスター発表をする大会で、各分野の上位2校が、全体会で口頭発表の名誉とともに、優秀な発表研究に対しては、文部科学大臣賞、JST理事長賞、審査委員長賞及び奨励賞が授与されます。また、その他に12校がポスター発表賞として表彰されます。

本校からは自然科学部地学班の3名が参加しました。ポスター発表は「堤川の水質改善に関する研究」というタイトルで、酸性河川である堤川の現状とpHの改善に向けた酸化チタンの実験結果について考察を加えた内容を発表しました。

本校のポスター審査は、午前の審査時間帯の最後の方でしたが、一般参加者への説明を何度も繰り返した後での審査となりましたので、リラックスしながら自分たちが取り組んできた実験内容について丁寧に説明していました。審査員からの質疑や指摘は今後の研究の指標となっていくものと思います。

SSH生徒研究発表会の様子

